

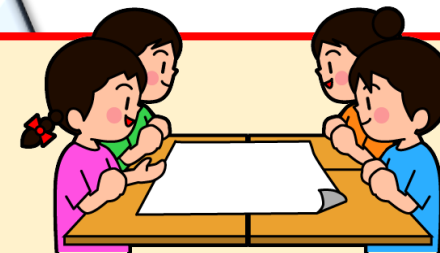
学校経営のビジョンと戦略を支援する参考図書の紹介 (その3)

管理しない校長が、すごい学校組織をつくる!

「『任せる』マネジメント」

～指示ゼロでもここまでできる! 教職員が動き出す新リーダー論～

横浜市立日枝小学校 校長 住田昌治 著 学陽書房



【思いきって「任せて」みましょう】

(本書「はじめに」より)

これからは、予測不能な時代が到来し、エージェンシーが求められます。エージェンシーとは、「自ら考え、主体的に行動して、責任をもって社会変革を実現していく力」です。このエージェンシーを子どもが身につける前に教職員が身につけていくことが不可欠です。

しかし、「指示待ち人間」の教職員に悩む校長先生も多いのが実際です。その原因は、いちいち細かく指示をしている校長先生自身にあるのかもしれませんが。教職員は、「言われたことだけこなしていればいい」と考えるようになります。

そこで、教職員の主体性を引き出す方法の一つとして「任せること」があります。「任せる」とは、「待つ、見守る、我慢する、手放す、認める、褒める、信頼する、感謝する」ことで、これらを大切にし、思いきって任せてみたらどうでしょうか。

本書には、こうした任せ方のコツや任せるための信頼関係づくりのポイントなどが紹介されています。

校長先生が上手に任せることで、教職員が主体的に動き出すのです。そんな雰囲気こそ、快適な学校やのびのびとした子どもを育てることにつながっていくのではないのでしょうか。

子どもたちが将来、大人として立派に独り立ちしていくことを願い、任せてみましょう。

本書の主な内容

- 1 「任せる」校長になろう
- 2 学校改善マネジメントの進め方
- 3 教職員との信頼関係はどう築く？
- 4 「任せる」ために校長がしていること
- 5 「任せる」ための校長マインド

《関連図書の紹介》

- ◆ 引っ張るリーダーから支えるリーダーへ

『サーバントリーダーシップ入門』

～「オレについてこい！」だけが
リーダーシップではない～

元・資生堂相談役 池田守男
神戸大学大学院経営学研究科 教授 金井壽宏
かんき出版

※本書に出てくる上記内容を詳しく知りたいとき

- ◆ ESD実践と校長マインド

『カラフルな学校づくり』

～元気な学校は元気な教職員から！

横浜市立日枝小学校 校長 住田昌治
学文社

※本書の著者の代表著書 ESDの参考図書



【信じて任せることで大人も子供も育つ】

任せることは、育てることであり、応援することです。そして、本来任せられることは嬉しいことです。任せることは、信頼している証拠でもあります。ですから、「信じて任せる」という教職員の表現や姿勢は、子どもにとってうれしいことなのです。

なぜ、それができないのか。うまくやりたいとか、失敗したくないとか、自分目線で考えるからです。他者の成長を喜べる人であれば任せられます。

「任せる」そして「見守る、待つ、認める」、さらに「信頼し、感謝する」ことで人は育っていくのではないのでしょうか。「任せる」ことを通して、あきらめず自分自身や学校の「当たり前」を変えることで変容をもたらすのです。

学校のビジョンを明確にして、関わる教職員の自己有用感を引き出し、内発的動機付けを目指し、校長がリーダーとしてのあり方をきちんと遂行することで、魅力ある学校づくりへとつながっていきます。

任せられた仕事を、ワクワク感をもって、生き生きと担っていく教職員こそが、持続可能な社会の創り手となる子どもたちを育てることができるのです。 本書「おわりに」より